

事前評価個表

整理番号	69
------	----

地域（地区）名	よしいがわ 吉井川地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	岡山県	対象市町村	津山市ほか10市町村
事業実施期間	H23 ~ H27（5年間）	事業実施主体	県、市町村、森林組合等

事業の概要・目的	<p>吉井川地域は県東部に位置し、北部は中国山地を形成する1,000mを超える山並が連なり急峻な地形が多くなっている。南部地域は100 m～300mの小起伏の低山を形成し、瀬戸内沿岸に続いている。地域の森林面積は、地域総面積の73%に当たる182千ha(国有林：15千ha、民有林：167千ha)で、県下森林面積の38%を占めている。</p> <p>民有林の資源内容は、人工林が77千ha、天然林が84千haであり、人工林率は46%と県平均の39%より高くなっているが、3～12齢級の林分が87%を占めており、伐期の長期化に対応して、高齢級森林の適切な間伐の実施と間伐材の搬出利用の促進が大きな課題となっている。また、奥地林等において、間伐が遅れているにもかかわらず放置されたままの森林間伐の適正な実施が課題となっている。また、南部は天然アカマツ林が大部分を占めており松くい虫被害量は依然高い水準にあることから、伐倒駆除や樹種転換等による対策が求められている。</p> <p>津山市ほか10市町村で策定している市町村森林整備計画と整合性を図り、森林の有する多面的機能を総合的にかつ高度に発揮させるため、路網の整備とともに適切な森林施業を実施することにより、公益的機能の維持増進と木材供給量の増大を図る。</p> <p>本計画に基づき森林の配置や齢級構成に応じ整備を行うことによって森林の有する多面的機能の発揮の確保が可能となる。</p> <p>農耕地の多くが森林に隣接していることから、農林業の振興、農林道の整備において関係部局等の連携を図る。また、環境に配慮した施工、コスト縮減等に取り組む。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：15,015ha 人工造林、下刈り、雪起こし、枝打ち、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>路網整備：1,500m 林業専用道開設</p> <p>総事業費：4,091,815千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 9.82 (総便益(B) = 74,469,073千円、総費用(C) = 7,582,360千円)</p>
評価結果	<p>必要性：保育対象林分の賦存状況、森林整備の緊急性等から見て必要性が高い。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：健全な森林づくり等によって水源かん養、国土保全等の機能の確保はもとより、将来の優良材の安定的生産にとって有効である。</p> <p>森林は、多様な機能を有しているが、これら機能を一度失うと回復に長期間を有することから、適時適切な施業を計画的に実施することが不可欠である。 このため、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。</p>

便 益 集 計 表

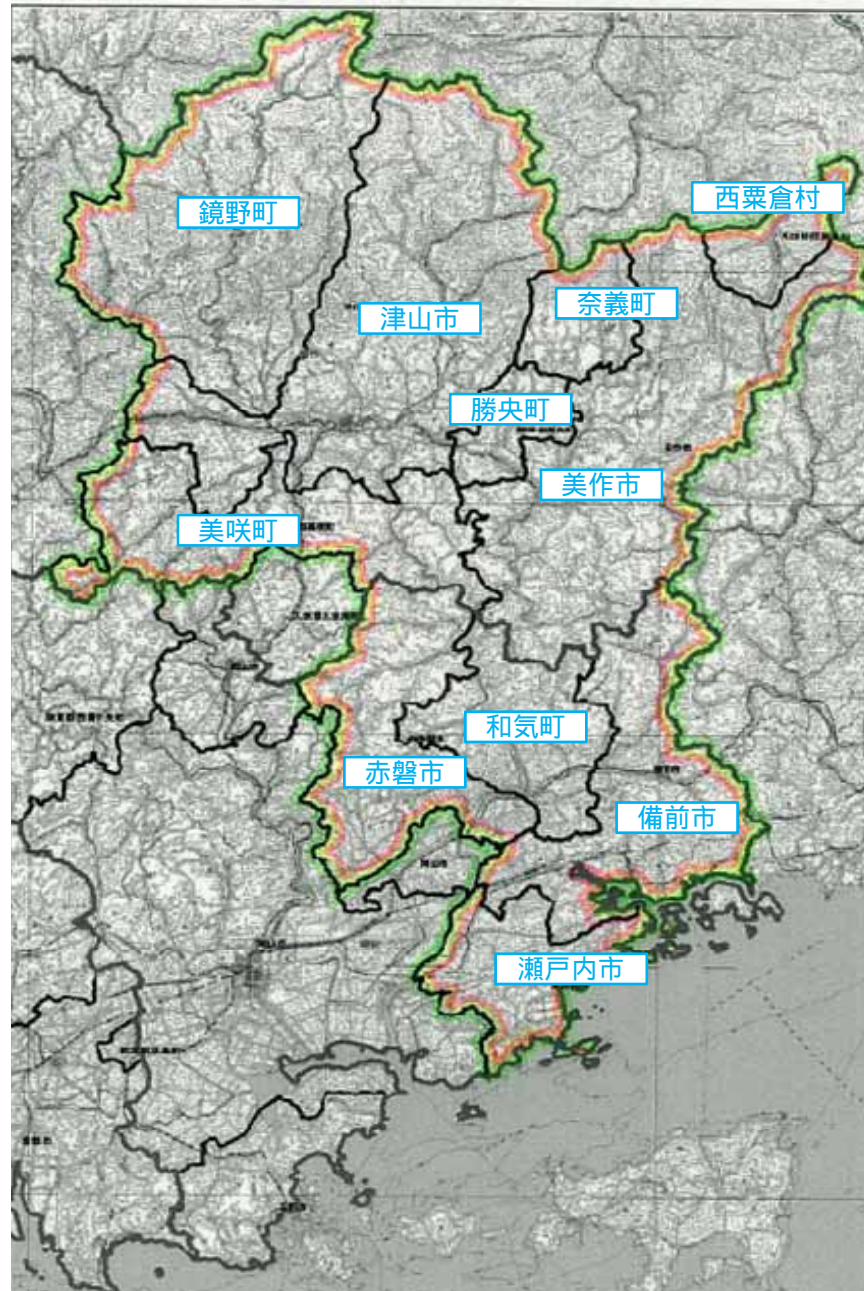
(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業
 地域名: 吉井川

岡山県
 (単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	18,710,414	
	流域貯水便益	6,927,082	
	水質浄化便益	11,825,886	
山地保全便益	土砂流出防止便益	22,998,487	
	土砂崩壊防止便益	59,253	
環境保全便益	炭素固定便益	7,224,862	
木材生産便益	生産等経費縮減便益	15	
	木材利用増進便益	145	
	木材生産確保・増進便益	6,652,314	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	18,839	
	森林管理等経費縮減便益	78	
	森林整備促進便益	51,698	
総 便 益 (B)		74,469,073	
総 費 用 (C)		7,582,360	
費用便益比	$B \div C = \frac{74,469,073}{7,582,360} = 9.82$		

森林環境保全整備事業 吉井川地域(岡山県) 概要図



凡 例	
計 画 区 界	
事 業 区 域	
森 林 整 備	
市役所・町村役場	